

山形県感染症発生動向調査 週報

2026年 第13週

(2026年3月23日~2026年3月29日)

2026年4月1日 発行

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)

TEL.023-627-1109

<定点把握感染症>

定点種別	感染症	全国			山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県)
		第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	
急性呼吸器感染症	内科・小児科 (定点医療機関数)	(39)			(7)			(10)			(4)			(6)			(12)						
	インフルエンザ	37043	538	391	▼	80	78	▼	132	108	▼	38	31	▼	76	59	▼	212	115	▼	8763		
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	4079	67	49	▼	11	8	▼	16	15	▼	7	4	▼	11	7	▼	22	15	▼	1577		
小児科定点	(定点医療機関数)	(26)			(6)			(7)			(3)			(3)			(7)						
	RSウイルス感染症	1240	46	34	▼	27	6	▼	2	4	△	2	2	△	12	22	▲	5		▼	354		
	咽頭結膜熱	537	4	3	▼		1	△	4		▼	1		△	1		△				124		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6049	119	121	△	22	24	△	63	53	▼	2		△	20	27	△	14	15	△	1560		
	感染性胃腸炎	12759	158	131	▼	47	29	▼	32	35	△	8		▼	35	27	▼	32	32		2391		
	水痘	781	17	14	▼	2	6	▲	5	1	▼	1		▼	2	2		7	5	▼	219		
	手足口病	139																			8		
	伝染性紅斑	225	3	1	▼				1		△	1		▼	1		▼	1		▼	78		
	突発性発しん	427	11	7	▼	1	2	△	5	1	▼	2	1	▼	1		▼	2	3	△	101		
	ヘルパンギーナ	33																			2		
	流行性耳下腺炎	55																			4		
	眼科定点	(定点医療機関数)	(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)					
急性出血性結膜炎		9																			0		
流行性角結膜炎	210	5	1	▼	1		▼	4	1	▼										72			
基幹定点	(定点医療機関数)	(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)						
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	36																			1		
	クラミジア肺炎	4																			0		
	マイコプラズマ肺炎	101																			38		
	細菌性髄膜炎	9																			2		
無菌性髄膜炎	13																			1			

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

<通信欄>

〇トピックスで、「インフルエンザ」について掲載しています。

警報・注意報の基準値(参考値)

疾病名	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

令和7年第15週から、国の新しい基準が発出されるまでの間、警報・注意報の基準値については参考値として取り扱います。

- ・定点把握感染症の定点当たり報告数グラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
- ・ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。
- ・感染症のCSVデータは、衛生研究所HPからダウンロードできます。

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

<定点把握感染症 年齢別報告数>

種別点	感染症	年齢														合計
		～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
急性呼吸器感染症定点	内科・小児科	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	391
	インフルエンザ	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									
		20	26	1	6	2										
		～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	～5ヶ月	3	3	1	2		2	2		1		3	4	3	49	
		30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									
		2	5	3	7	3	5									
	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～		
小児科定点	RSウイルス感染症	2	4	7	11	2	3		2		1		1		1	34
	咽頭結膜熱			3												3
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			9	11	11	17	12	16	9	14	6	10		6	121
	感染性胃腸炎	2	6	30	16	13	6	10	11	7	7	5	8	3	7	131
	水痘				1		3	1	3		1	1	4			14
	手足口病															0
	伝染性紅斑									1						1
	突発性発しん	1	1	4	1											7
	ヘルパンギーナ															0
	流行性耳下腺炎															0

<全数把握感染症>

感染症	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
結核	1					
レジオネラ症	1					
クロイツフェルト・ヤコブ病					1	第12週 追加報告(1)
梅毒	1			1		第12週 追加報告(2)

<トピックス>

インフルエンザ 警報レベル

第13週におけるインフルエンザの県定点当たり報告数は10.03で、7週連続警報レベルとなっています。型別ではB型の感染が主流となっています。今シーズン既にA型に感染した人もB型に感染する恐れがありますので、引き続き注意しましょう。

図1 インフルエンザ定点当たり報告数(全国及び山形県過去3シーズンとの比較)

図2 インフルエンザ型別報告数(2023/2024シーズン～)

【迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数】
 A型:4件、B型:387件
 (定点医療機関からの報告)

【インフルエンザウイルス検出状況(衛生研究所 2025.9.1～2026.3.24)】
 AH1pdm09:8件、AH3:236件、B型:149件
 (今シーズン2025年36週～の患者検体より)

予防方法

- ・帰宅後や咳・くしゃみで口を押さえた後などは、**石けんで丁寧に手を洗い**ましょう。
- ・場面や状況に応じて**適切にマスクを着用**しましょう。
- ・室内は**適度な湿度(50～60%)**を保ち、こまめに**換気**をしましょう。

※インフルエンザについて、詳しくはこちらをご覧ください。➡ [山形県HP](#)
 ➡ [厚生労働省HP](#)

【急性呼吸器感染症サーベイランス(症候群サーベイランス)】

< 定点把握感染症 >

感 染 症	全国	山 形 県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積 (県)
	第12週	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科 (定点医療機関数)		(38)			(7)			(10)			(4)			(5)			(12)			
急性呼吸器感染症	199051	2533	2305	▼	583	459	▼	525	468	▼	281	336	▲	368	391	▲	776	651	▼	35586
	52.51	66.66	60.66		83.29	65.57		52.50	46.80		70.25	84.00		73.60	78.20		64.67	54.25		

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
 ・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

急性呼吸器感染症(ARI)
サーベイランスについて

平時より、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、国民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が4月7日から五類感染症に位置づけられ、サーベイランスが始まりました。

ARIサーベイランスは、症例定義※に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

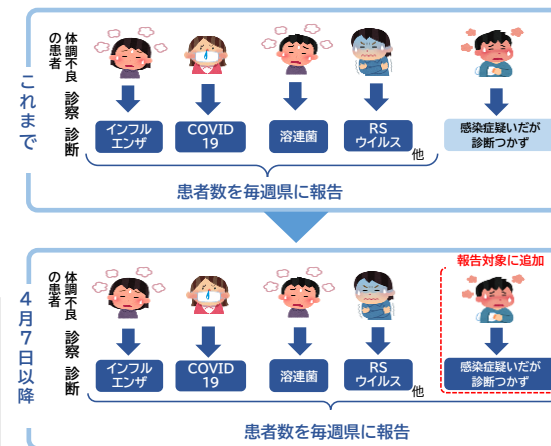
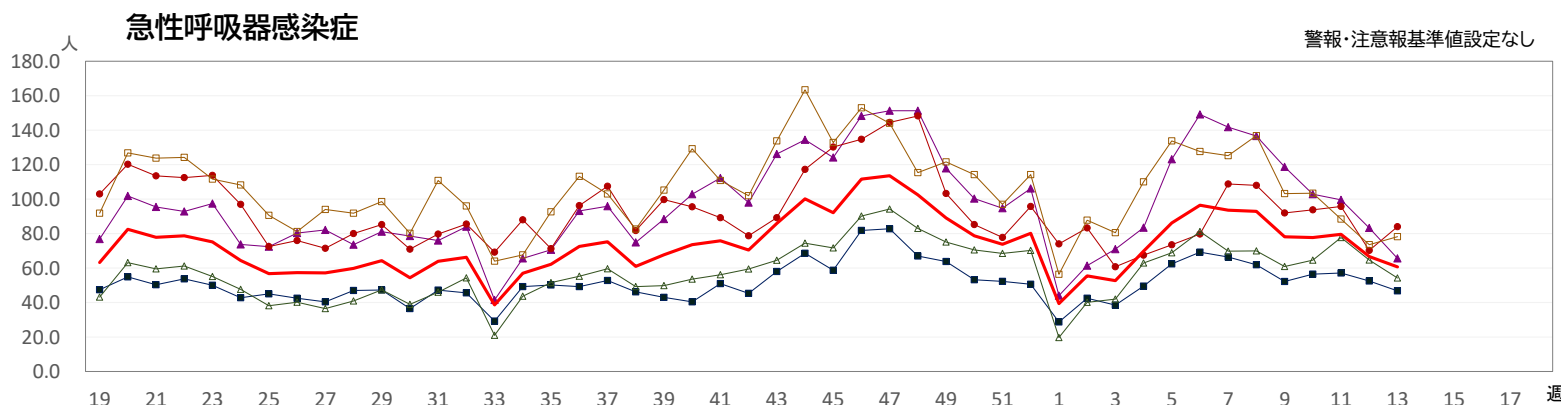
※咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

ARIサーベイランスにおける対象感染症は、インフルエンザ、COVID-19、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に加え、新たに五類感染症に位置づけられた「(診断名のつかない)急性呼吸器感染症」となります。

< 定点把握感染症 年齢別報告数 >

感 染 症	山 形 県													合計
	第13週													
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科	0歳	1~ 4歳	5~ 9歳	10~ 14歳	15~ 19歳	20~ 29歳	30~ 39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70~ 79歳	80歳~		
急性呼吸器感染症	154	896	554	228	51	45	84	76	52	69	48	48	2305	

< 定点当たり報告数グラフ >



詳しくは
厚生労働省HPへ ▶▶▶

